

研究発表・ポスターセッションにおける遠隔発表について

遠隔での発表について

2022年の第23回全国大会は原則対面形式での発表となりますが、昨今の状況を鑑み、濃厚接触者等の学会によって認められた発表者のみ、遠隔での発表を許可することとなりました。

つきましては、下記の点にご注意いただき、ご準備・ご発表をお願いいたします。

1. 発表プラットフォームについて

ZOOMを使用します。学会への参加は、JCLA 22と同様にOBIRIN講堂を使用します。アクセス方法等については学会ホームページをご確認ください。なお、これまでにZOOMのご利用がない場合には、事前にご準備をお願いいたします。また、ZOOMを最新版へとアップデートしてから学会にご参加ください。

2. 発表のルールについて

研究発表のルールは原則として対面発表のルールを引き継ぎます。そのため、**リアルタイムでの発表**25分、質疑応答10分の合計35分です。研究発表の際に画面共有等で発表資料を提示することは認められていますが、発表資料の内容が『予稿集』の内容から大きく逸脱しないようご注意ください。両者の内容が明らかに異なる場合、研究発表が取り消される場合もあります。また、発表者は顔を映しての発表を必須とします。

3. 発表時の注意について

プログラム発表後に遠隔発表へと切り替わった場合、発表は遠隔対応室(BT302, 研究発表第6室)へと移動します。これに伴い、**発表日時に変更が生じる場合があります**ので、時間にゆとりを持ってご参加ください。また、当日は安定したインターネット接続が利用できる環境からご発表をお願いいたします。加えて、トラブルが発生した場合に備え、予稿集で発表できるようにもご準備ください。

以上